

生活デザイン科の 授業・行事あれこれ

トピックス

令和5年度 NO. 17

R 5. 12. 19

江別高校生活デザイン科

認知症サポーター養成講座開催～1・2年～

1・2年生を対象に、認知症サポーター養成講座を実施しました。江別認知症オレンジの会より、講師として江別すずらん病院 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 川岸聡美 様を派遣いただき、認知症をわがこととして考えること、声がけをするときのポイント、原因となる病気と主な症状等について、ご説明いただきました。

生徒からは「今日の講座を聞いて認知症のイメージが変わった」「認知症だからといって何もできないのではなく、認知症の方の想いも知ることができ、本当に勉強になった2時間でした。私の家族もここまで詳しく認知症についての知識はないと思うので、家でも共有したいと思った」等の感想が寄せられました。

地域の一員として、認知症について考え、正しく理解するための貴重な機会とすることができました。



デザインについて学ぶ～札幌大谷大学出張講義開催～1年

12月13日（水）1年生を対象に、札幌大谷大学の鳥宮教授をお招きして出張講義を行いました。今後のデザイン画や作品制作活動に活かす目的で、発想の仕方などについての講義をしていただきました。講義の前半は、様々な「なるほど」と思えるデザインされた製品について紹介していただき、デザインを生み出すためのヒントを教えてくださいました。デザインは、「0（ゼロ）」から生み出さなくもよく、何かと何かを組み合わせたり、他の人と刺激し合う、「妄想」を膨らませるのも良いとおっしゃっていました。後半は「椅子」のデザインをしました。頭の中に浮かんだアイデアを全部外に書き出し、グループで共有しながら進めることが新たなアイデアの発展につながることも実感したようです。教えていただいたことを参考にして、デザイン画にどんどん挑戦してほしいです。



生徒の感想

- ・今までにない「発想」が浮かんできて、考えるのが楽しかった。これから沢山の経験を積み重ねいきたい。
- ・アイデアは、見る人が「なるほどね!!」となることが大事ということを聴いて納得した。
- ・イメージが全然思い浮かばないタイプなので、今回の講義を聞いて勉強になりました。